令和５年 11 月 17 日

警察庁大盛真歩特別防犯支援官を招いて非行防止教室を実施しました。

10 月 16 日（月）、鉾田警察署と警察庁大盛真歩特別防犯支援官を招いて非行防止教室を実施しました。

大盛支援官は、AKB４８のメンバーで芸能活動を行いながら、警察庁の特殊詐欺被害防止プロジェクトチーム「SOS４７」の一員で、「特別防犯支援官」として都道府県警察と連携して、犯罪抑止の広報啓発活動に取り組んでいます。

体育館で３年生約２３０人が動画を取り入れた説明を聞き、１年生、２年生合計約４５０名がオンラインで、教室で説明を聞きました。

大盛支援官は、本校の卒業生です。司会者から大盛支援官が来校されていることが生徒に紹介されて、体育館に姿を見せると、生徒たちは、驚きの表情を見せて、大きな拍手で迎えました。

大盛支援官から、生徒たちに向けて、「ニセ電話詐欺の被害にあわないためには、家にカギをかける感覚で、いつも留守番電話設定にすること。普段から家族で詐欺に気をつけようと話をすることが大切。」「架空請求詐欺が急増しています。心当たりのないお金の請求や知らない電話番号からの連絡には絶対に応じないこと」「闇バイトという言葉が使われていますが、バイトでは無く犯罪。短期間で簡単に大金が稼げるは嘘。必ず捕まります。」「大麻は違法薬物。誘われても、絶対に断りましょう。」「一人で悩まず、困ったことがあったら、家族や先生、警察署に相談して下さい」等とメッセージをいただきました。

生徒たちは、警察官と大盛支援官の説明をしっかりと聞いて、「ニセ電話詐欺」「闇バイト」「薬物や大麻の乱用」などが、自分たちの身近で起きている事として受け止めて、絶対に犯罪に関わらないように意識できた様子でした。